

令和7年度まちむら交流きこうの専門職員の講師派遣(ご案内)

～各分野の専門職員を派遣いたします～

弊団体の職員は、農山漁村地域の活性化・観光・交流に係る様々なご相談にお応えし、伴走支援する“専門職員による講師派遣”を承っております。

依頼者のご要望や地域の状況・参加者等に応じた内容で分かりやすい説明を心掛けて取組みます。

I. 農山漁村地域における「学校教育旅行」の受け入れについて

No	講義のテーマ(例)	主な内容(目安)
1	農山漁村地域の資源・課題を活用した「探究的な学習」の受け入れの勧め 【NEW】	①「探究的な学習」のねらい(学習指導要領の改訂等) ②「学校教育旅行」における新たなニーズ(中・高調査の結果) ③「訪問地の課題」を活用した事前学習・現地学習・事後学習 ④「現地学習」で求められる交流・対話の機会 ⑤「受入側」にもたらす効果(関係人口の創生等) ⑥「受入側」が学校のためにできることなど
2	コロナ禍後の「教育旅行民泊の受入地域の傾向と対策」 【NEW】	①「教育旅行民泊の受入地域」の傾向(受入家庭の軒数確保等) ②「教育旅行民泊」のニーズ(学校・旅行会社等の声) ③「教育旅行民泊の受入地域」による対策(先進地の事例)など
3	「民泊の受入家庭」の基本的な役割と心構え (対象:受入家庭、事務局等)	①「受入家庭」の基本的な役割と心構え(安全対策等) ②「子供達との交流」がもたらす地域活性化 ③「食事のメニュー・過ごし方等の検討」ワークショップ
4	「SDGsプログラム」の開発のポイント	①「SDGs」とは何か？ ②「農山漁村の課題とSDGs」の紐づけ ③「SDGs プログラムのテーマ探し等」ワークショップ

II. 「農泊・インバウンド・農家民宿等の諸規制等」について

No	講義のテーマ(例)	主な内容(目安)
1	「農泊の先進地」の傾向と対策 【NEW】	①「農泊」とは(ねらい・背景等) ②「交流」の傾向と対策(学校教育旅行、国際交流) ③「観光」の傾向と対策(インバウンド等) ・「地域資源・改築した空き家・地域ぐるみ等」の活用事例 ・「インターネット」による周知・募集・評価確認等 ④「県域ネットワーク」によるプロモーションなど
2	「農山漁村に訪れる訪日外国人旅行者」の傾向と対策(国際交流、インバウンド) 【NEW】	①「訪日外国人旅行者の受け入れ」を国が勧める理由 ②「農山漁村に訪れている訪日外国人旅行者」の傾向 ③「選ばれる・楽しんでいただく」ための対策 ④「県域ネットワーク」によるプロモーションなど
3	「小規模宿泊施設(農家民宿等)」の開業 【NEW】	①「多様な小規模宿泊施設(農家民宿等)」の取組事例 ②「小規模宿泊施設の開業」に係る関係法令 (旅館業法と住宅宿泊事業法の比較、規制緩和等) ③「開業の志し・施設・サービス・募集等」の具体化 ④「開業後の収益・資金繰り」の想定など
4	「農山漁村の廃校活用」の事例・改修・運営等	①「廃校」の現状と活用事例 ②「廃校」の改修と「廃校活用」の運営など
5	「着地型旅行会社」の役割と諸規制	①「地域資源を活かした着地型旅行会社」の取組事例 ②「旅行企画の募集・実施等」の諸規制など
6	「宿泊・飲食・地域内移動・旅行企画」の諸規制	①「各分野における諸規制」の要点 ②「諸規制のケーススタディ」など
7	「農山漁村コミュニティビジネス」の取組事例	①「農山漁村コミュニティビジネス」の取組事例 ②「地域振興のための住民合意形成」を促す手法など

Ⅲ.「地域案内人・体験指導者・企画立案者」に求められる基本的な役割・技術について

No	講義のテーマ(例)	主な内容(目安)
1	「地域案内人(エスコーター、ガイド等)」の基本的な役割・技術	①「地域案内人」の基本的な役割(地域活性化等) ②「お客様の目線による地域資源の魅力」の探し方 ③「地域案内」の基本的な技術(伝え方、配慮事項、安全管理等)
2	「体験指導者(インストラクター)」の基本的な役割・技術	①「体験指導者」の基本的な役割(地域活性化等) ②「お客様の目線による体験プログラム」の作り方 ③「体験指導」の基本的な技術(伝え方、配慮事項、安全管理等)
3	「企画立案者(コーディネーター)」の基本的な役割・技術	①「企画立案者」の基本的な役割(地域活性化等) ②「企画」の立て方(対象・満足度・募集・原価計算等) ③「企画書の作成」ワークショップ
4	「地域案内・体験指導時の安全管理」の要点 ～事故予防の義務と対策～【NEW】	①「事故予防」のための2つの義務(危険予知・事故回避) ②「事故予防を意識した地域案内・体験指導」の要点 ③「危険予知・事故回避策の検討」ワークショップ

※ 以上の講義はすべて『座学』です。

※ これらの実践的な技能を身に付けるために『実技』を伴う研修をお求めの場合には、弊団体が開講する「グリーン・ツーリズムインストラクター育成スクールへのご参加」または「現地開講の委託」をご検討ください(右のQRコード参照)。



同講習会の公式サイト

Ⅳ.「農産物直売所・地産地消」の基礎・基本について

No	講義のテーマ(例)	主な内容(目安)
1	「農産物直売所」の基本	①「農産物直売所」の現状と成り立つ仕組み ②「農産物直売所」の事例
2	「農産物直売所」の魅力向上	①「今日の農産物直売所」が抱える課題と対策 ②「農産物直売所」が成り立つ仕組みと生きる事例
3	「給食における地産地消」の推進	①「地産地消」とは ②「給食の提供」における地産地消の推進 ③「地産地消給食」の事例

専門職員の講師派遣に係る Q&A

Q1. 上記のテーマ以外でも対応できますか？ また、テーマ・内容に変更を加えることも可能ですか？

A1. 可能です。まずは依頼者様のご相談を賜ります、お気軽にお問合せください(オンライン対応:可)。

Q2. どのくらい費用が掛かりますか？

A2. 基本的に「謝金・旅費交通費」がかかります。目安は以下の通りです。

□講師謝金:1名1回当たり「71,500円(税込)」

□原稿謝金:事前打合せと原稿作成の日数(1~5日程度)×1日当たり謝金「22,880円(税込)」

□旅費交通費:交通費(JR神田駅の往復)、宿泊費及び宿泊手当(※宿泊を伴う場合のみ)

Q3. 予算には限りがあります。依頼者側の予算額・規定額等に応じた相談は可能ですか？

A3. 可能です。お見積りを作成しますので、お気軽にお問合せください(インボイス対応:可)。

【お問合せ先・ご依頼先】

一般財団法人 都市農山漁村交流活性化機構(まちむら交流きこう) 業務第1部

住所 東京都千代田区神田東松下町45番地 神田金子ビル 5階

MAIL: soudan@kouryu.or.jp TEL:03-4335-1983/1987(直) FAX:03-5256-5211